

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

- 勉強をする場所、遊ぶ場所、本を読む・静かにする場所を区切ることで少ないスペースを安全に配慮して使っている。
- 法令上必要な人員は常に配置することができるが、トラブル時や送迎の状況によっては余裕がないと感じることや、送迎における業務負担が一部の職員に偏ってしまっていると感じることがあるため、法人内の近隣教室との調整により送迎負担の軽減を図っていく必要がある。
- 教室が2階に位置しており、入退室の為には階段の昇降が生じるためバリアフリーとは言えないが、階段には手すりを設置しており、階段の昇り降りの際には必ずスタッフを配置して安全管理に細心の注意を払っている。またローテーブルを使う際にイスを使用する、手洗い場に足場を設置するなど、児童の体格に配慮したグッズを使用することで、不便なく過ごしていただけるような工夫に取り組んでいる。

○業務改善

- e-ランニング研修や階層別研修、新卒研修、若手・管理者・責任者研修など、役職や階層に応じた研修を受け、職員個々のスキルアップに繋げている。
- 日々のミーティング等を通して、スタッフで話し合う場を設け、積極的に意見交換をし改善に努めている

○適切な支援の提供

- 個別支援計画については児童発達支援管理責任者が面談を行い、作成後は心理士の推敲を経て完成させている。作成にあたっては、ミーティングの場で職員から意見を集めたり、確認を行いながら、教室全体で支援を検討することができている。半年に一度、個別支援計画の見直しを行う際にはアセスメントをとり、必ず保護者様と面談を行い、児童の課題を把握したうえで作成している。
- 過去の活動を見て半年は内容が被らないように考慮しており、曜日や内容に偏りがないように決めている。

○関係機関や保護者との連携

- 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に児童発達支援管理責任者や管理者が参加し、各関係機関との連携を行っている。
- 送迎時に児童の様子をお伝えしたり、サービス提供記録にてその日の様子をお伝えしている。さらに、家庭連携加算を中心に、加算を取得できていないタイミングでも送迎時等でお話を聞き、スタッフ間で相談し対応をお伝えするなど家庭連携や事業所内相談などで助言相談を行っている。

○保護者への説明責任等

- 今年度は12月に保護者会を実施しており、これまでの活動報告を行っている。
- 苦情窓口を設置している。苦情等があった場合は、その原因と対応を報告書にまとめ再発防止に努めている。

○非常時等の対応

- 毎月1回、児童に対して様々な災害に対しての避難訓練を行っている。また、職員に関しては、年2回虐待防止チェックリストを用いて職員に実施するとともに研修を行ったり、ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングにて共有を行うことで日々の安全に対しても考える機会を設けている。
- 日々のおやつ提供では各児童のアレルギーを把握できるよう、毎年更新される基本情報確認シートにてアレルギーの原因物質を記載して頂き、それらがすべて含まれていないおやつを選択し提供している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- 訓練室のスペースに関しては、「とても清潔で、過ごしやすい環境だと思います」という意見を頂いた。一方、「階段スペースに関しては、階段が急すぎて足を踏み外さないか心配です」という意見も頂いた。
- 職員の配置数や専門性に関して「ばどなたがどの様な資格をお持ちなのか?知らないため、よくわかりません」という意見を頂いた。

○適切な支援の提供

- 支援内容について「活動のバランスよくて、気に入ってます」「曜日で固定されていないので、色々な活動に参加できるのが良いと思います。」というご意見を頂いた。
- 障害のない児童たちとの交流については、どちらともいえないという答えが多く寄せられた。

○保護者への説明等

- 保護者会開催については「個人情報に関係もあり、保護者同士の交流は難しいのかなと思っています。どのような方がいるのか?わかりません。」「12月に久しぶりの保護者会が行われた。これからも定期的に開いてほしい」とのご意見を頂いた。
- 日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解ができているかについて、「いつも送りの際に情報共有してもらっています」とのご意見を頂いた。

○非常時等の対応

- 約90%の方から高い評価を頂いているが「どの程度の訓練なのかわからないのですが、やっているみたいです。」とのご意見も頂いており、取り組み内容の周知には課題が残った。

○満足度

- すべての方から、満足であると回答を頂いた。
- 「いつもスマートでこんな事をした、あんな事をしたと楽しそうに話してくれます」「小学一年生から通所させていたのですが、児童に寄り添った支援をして下さっています。本当にありがとうございます」「一年生の時から通い、語彙も表現も広がり、本人も楽しそうに通所しています」というご意見を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- 入退室時の段差や階段に職員を配置し対策するとともに日々のミーティングの中で危険だったことや気になった所を共有しあい、全職員が配慮すべき点を把握できるように引き続き意識をしていく。
- 新型コロナ感染状況を鑑み、オンラインでの保護者会を実施する。
- 教室の様子、集団療育の様子を定期的にブログで発信する。

○改善できた点・まだ残る課題

- 階段や段差等の安全面の配慮を職員1人1人意識して行うことができているが、日々のことである為、今後も継続して意識付けをし、安全確保に努めていく。
- コロナが5類となり緩和されたことにより、保護者会を開催することができた。今後も保護者会を定期的に開催できるように努めていく。
- 教室の様子、集団療育の様子を定期的にブログ発信することが難しかった。今後ブログ発信ができるように教室内で協力して行っていきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- 子どもたちや保護者様のニーズに沿った多様な活動を、スタッフ全員で検討することができており、活動プログラムに対するよい評価につながっている。
- 毎日のミーティングを通して、職員間での児童の情報共有が密にし、さらにその日の出来事について等、送迎時に、保護者様との情報共有を行うことができています。

○改善点

- 保護者同士の交流が少ない為、保護者会の開催を定期的に行う。多くの保護者に参加いただけるよう計画的に日時設定を行い、周知をはかっていく。
- 定期的ブログを更新し、日々の取り組みについて利用者や、今後利用を希望される方にわかりやすく伝えられるように努める。
- 事業所入り口の段差や階段に関しては、変わらず児童が階段で足を踏み外すなどの危険が予測できるためスタッフの配置や声掛け誘導について、さらに改善を行う。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- 定期的に保護者会を開催し、保護者同士のつながりをもつ機会を提供したり、事業所内での取り組みについてより詳しく知ってもらうことで、保護者満足度の高い事業運営を目指す。
- ホームページやブログの充実で、日々の活動を保護者様により詳しく把握してもらえるよう努める。
- 事業所入り口に関し、ハード面におけるリスクを考慮した職員配置や職員の対応スキルの向上により、更に安全性の高い支援の実現を目指す。

○1年間で取り組む具体策

- 保護者会を年に2回開催し、ご案内する際には、紙面だけではなく口頭でも周知することで情報共有漏れをなくし多くの方に参加いただけるよう取り組んでいく。
- 毎日のミーティングで児童の情報共有や日々の活動の様子の情報共有を密にし、日々の活動をブログにて月1回発信できるように取り組む。ブログの更新が滞らないよう、あらかじめ分担を決めて、職員で協力して取り組んでいく。
- 引き続き、入退室時の段差や階段には職員を必ず配置、教室内の危険箇所や時間帯を見定めて引き続き子どもたちへの意識付けと声掛け誘導を行う。安全面で配慮すべきポイントを全職員が共通認識として把握できるよう、日々のミーティングや児童誘導の模擬訓練等の教室研修を行い、職員それぞれの安全管理意識やスキルの向上にも努めていく。

スマートキッズ